

輪島市ボランティアセンターだより

# めぐもりかわら版



ボランティア  
フェスティバル

『しゃべり場』では、会場を和室と研修室に分かれて「より良いボランティア活動をするために」をテーマに、参加したみなさんで話し合いをしました。提案されたご意見は福祉活動計画に反映されます。



## もくじ

- ボランティアフェスティバル報告……………2～3
- 能登北部地域ボランティア連絡会 災害支援者研修会報告…2
- 全国ボランティアフェスティバル報告…3
- 能登半島地震から5年目 災害について考える(仮)…4
- 和みバッグ活動報告……………4
- ボランティア活動保険加入案内……………4

♥編集・発行♥

社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会

【本 所】〒928-0001 輪島市河井町2部287番地1 (輪島市ふれあい健康センター内)

TEL 0768-22-2219 FAX 0768-22-9627

【門前支所】〒927-2153 輪島市門前町深田21の17番地1 (輪島市門前保健センター内)

TEL 0768-42-0772 FAX 0768-42-0901

《E-mail》 washakyo@aqua.ocn.ne.jp



ふくしあいちちゃん

# ティパレ **一つなごうボランティアの輪**

ルを、輪島市ふれあい健康センターにて開催しました。

●**舞台発表** 輪島市ボランティア連絡協議会加入グループが日頃の活動を発表しました。  
最初に『輪島市災害ボランティアの会』が『和みバッグの取組報告』をパワーポイントで紹介しました。

<p>『ワンダフル・グループ』</p>  <p>太極拳による演舞</p>	<p>『あすなる会』</p>  <p>歌と踊りとマジックショー</p>	<p>『手話サークル「水芭蕉」』 『手話であ・そ・ぼ』</p>  <p>手話コーラス</p>
---	--	---

部門	今までにボランティア活動をしてよかったこと	悩んだこと・困ったこと	これからこうなったら良いこと
食関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>①配食、笑顔うれしい。</li> <li>②達成感があり、交流ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①資金不足、サービスができない。</li> <li>②後継者不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①予算をもっとつけて欲しい。</li> <li>②若い世代に参加を呼びかけて後継者を育てる。</li> <li>③80歳以上の2人暮らしでも弁当を届ける。</li> </ul>
福祉関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分のできることをやっていくことで、みなさんに喜んでいただけることが良かった。</li> <li>②グループに加入することで人とのつながりが出来て良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ボランティアする人も年々高齢化してきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ボランティア活動する人が増えて欲しい。</li> <li>②健常者と障がい者が接する機会を多く持つ。</li> </ul>
町づくり関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分が活動でき、人とのつながりが広がった。</li> <li>②ボランティア活動を通じて、地元のことを知り、いろいろな人と知りあえた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①意見を言うと考え方が違うので「よそ者やね」と言われたこと。(排他的)</li> <li>②理念を持って活動しているのが、きれい事に言われてしまうこと。知名度が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童センターで男だけで活動しているサークルは輪島だけ。「たすけてヒーロー(父ちゃん)」等。工芸に興味を持たせたい。</li> <li>②要約サークル→若い子にがんばってほしい。(若い人の参加がほしい)自分たちのボランティアをPRする。</li> </ul>

## 能登北部地域ボランティア連絡会 災害支援者研修会

昨年12月16日(金)、穴水町さわやか交流館プルートにて災害支援者研修会が開催されました。珠洲市・能登町・穴水町・輪島市よりボランティア約80人が集い、輪島市より18人参加しました。  
平成24年度は、輪島市が開催地です。ご協力とご参加をよろしくお願いいたします。



「つながって支え合う 福祉のまちづくり」講師：高島市社会福祉協議会 井岡 仁志 氏 (滋賀県)



グループディスカッション (しゃべり場) で交流



小伊藤会長、能登半島地震以降の輪島市での活動を発表。

# 平成23年度 ボランティアフェス

昨年の11月19日（土）恒例のボランティアフェスティバル

## ●お楽しみフリータイム 喫茶・販売・展示コーナーがなりました。

### \*\*喫茶コーナー\*\*



コーヒーとお茶、手作りのカボチャ羊羹と大豆あめに舌つづみ。

### \*\*展示・販売コーナー\*\*



かわいい手作り品がたくさん並んでいて、何を買おうか迷います。

## ●しゃべり場 「より良いボランティア活動をするために」をテーマに話し合い、下記のようにまとめて発表しました。

部門	今までにボランティア活動をしてよかったこと	悩んだこと・困ったこと	これからこうなったら良いこと
イベント関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分も楽しみ。周りの人も喜ばすことができる。</li> <li>②仲間ができる。</li> <li>③生きがいにもなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①後継者がいない。</li> <li>②年を重ねると参加しにくくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①発表の場があるといい。</li> <li>②年齢にあったボランティアをしたい。（自分にできること）</li> <li>③児童館、小学校などにつなげてほしい。</li> </ul>
子ども関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年齢に関係なく、子どもを通じたつながりができる。親の情報交換の場になる。子どもが好きになった。</li> <li>②仕事と家の往復だけだったが、息抜きできる。意外な面がみられた。（家族にとって）</li> <li>③障がい児サークルの存続を違う形になったができた。声を上げたら行政が動いてくれた。→障がい児に理解してくれる人がいた。活動を知る人が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①仕事との両立・メンバーが欠けると困る。</li> <li>・メンバーが少ないと融通がきかない。</li> <li>②代表としての責任が重い。</li> <li>・リーダーは替わっていくべきだと思う。（リーダーは大変なので）</li> <li>③次の企画に悩む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①メンバーを増やしていきたい。活動が続いていくためには、世代交代が必要。</li> <li>②長く活動をするためには、リーダーが変わってあげると良い。そのためにはリーダーの立場や気持ちを理解してあげる。</li> <li>③年齢が高くなっても続けたい。そのためには活動を見守り、活動を否定せず、できる時にできることをする。</li> </ul>
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分のためになっている。</li> <li>②人から感謝される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①仲間が増えない。</li> <li>②相手との関わり方。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ボランティア活動のPR（ボランティアフェスティバル 一般参加）</li> <li>②ゆっくり関わられる時間が欲しい。</li> <li>③仲間が増えて欲しい（研修）など</li> </ul>

## 第20回 全国ボランティアフェスティバルTOKYO

昨年11月12日（土）～13日（日）の2日間にかけて、全国ボランティアフェスティバルが東京都にて開催されました。全国からたくさんの方々に参加され、輪島市からは7名参加しました。

1日目は開会式、シンポジウムが両国国技館で行われました。その後、28の分科会に分かれて学び、交流しました。2日目は青山学院大学などで34の分科会がありました。次回の開催地は三重県です。



両国国技館での「開会式」の様子



2日目の分科会会場の1つ 青山学院大学にて



「こどもの城児童合唱団」の大合唱

# おしらせ

## 能登半島地震から5年目 災害について考える (仮)

昨年3月11日の東日本大震災では広範囲で甚大な被害をもたらされました。今も不便な生活をされている方がいらっしゃいます。

能登半島地震から5年目、震災を経験した私たちが、今、何ができるかを一緒に考えませんか？

- ◆開催日：3月25日(日)
- ◆会場：輪島市ふれあい健康センター 3階
- ◆問合せ：輪島市社会福祉協議会 ☎22-2219

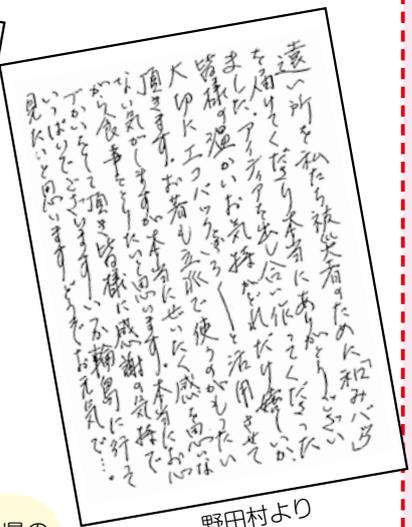
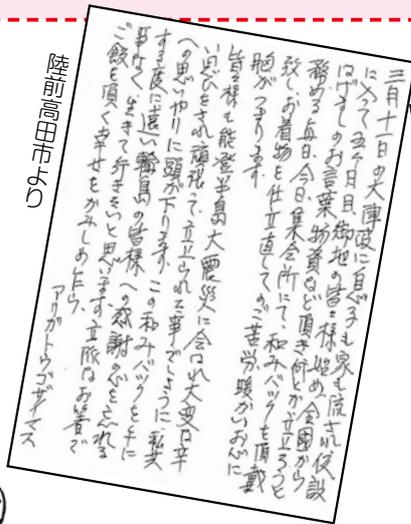
詳しくは3月号の越後屋版社協だよりを御覧下さい。



東日本大震災から「私達に何ができるだろう。」と考え、着物をリフォームして和みバッグの製作をはじめました。これまでに岩手県野田村、田野畑村、陸前高田市へ約800袋を届けました。まだまだ支援活動は続いています。今後もみなさまのご協力をお願いいたします。なお活動日に関しては、毎月の社協だよりをご覧ください。



和みバッグをプレゼントした岩手県の方からお礼の葉書が何枚も届きました。



## 平成24年度「ボランティア活動保険」

**加入更新をお忘れなく！**  
**すでに加入されている方も毎年手続きが必要です。**

安心してボランティア活動を行えるよう、ボランティア活動保険に加入しましょう。  
ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

- \* **加入申込者 (加入できる方)**  
ボランティア個人、ボランティアグループ、NPO法人または、その所属の無償のボランティア。
- \* **補償の対象となるボランティア活動**  
日本国内における、自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動。
- \* **補償期間**  
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで。  
※途中加入の場合は、加入手続きの受付をした翌日から、平成25年3月31日までとなります。
- \* **掛け金 (保険料) (平成24年度の場合)**  
●基本タイプ…280円 ●天災タイプ…490円  
※石川県県民ボランティアセンターから、掛け金200円の助成がありますので、個人負担は、基本タイプが80円・天災タイプが290円となります。その他のプランもあります。
- \* **お申込み・お問合せ**  
社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会  
【本所】輪島市河井町2部287番地1 (ふれあい健康センター内) ☎ 22-2219  
【門前支所】輪島市門前町深田21の17番地1 (門前保健センター内) ☎ 42-0772